



このまち思いエネルギー。

広島ガス

# CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report

## 2018

持続可能な社会をみつめて…



# CONTENTS

1909年の創立以来、  
炎が創る豊かで快適な暮らしを  
ご提案しています。

発行にあたって	1
CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
トピックス1 「広島ガス防災センタービル」の竣工、運用開始	5
トピックス2 新料金メニューの実施	5
トピックス3 「海田バイオマスパワー株式会社」設立	6
トピックス4 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	6

## 〈経営分野〉

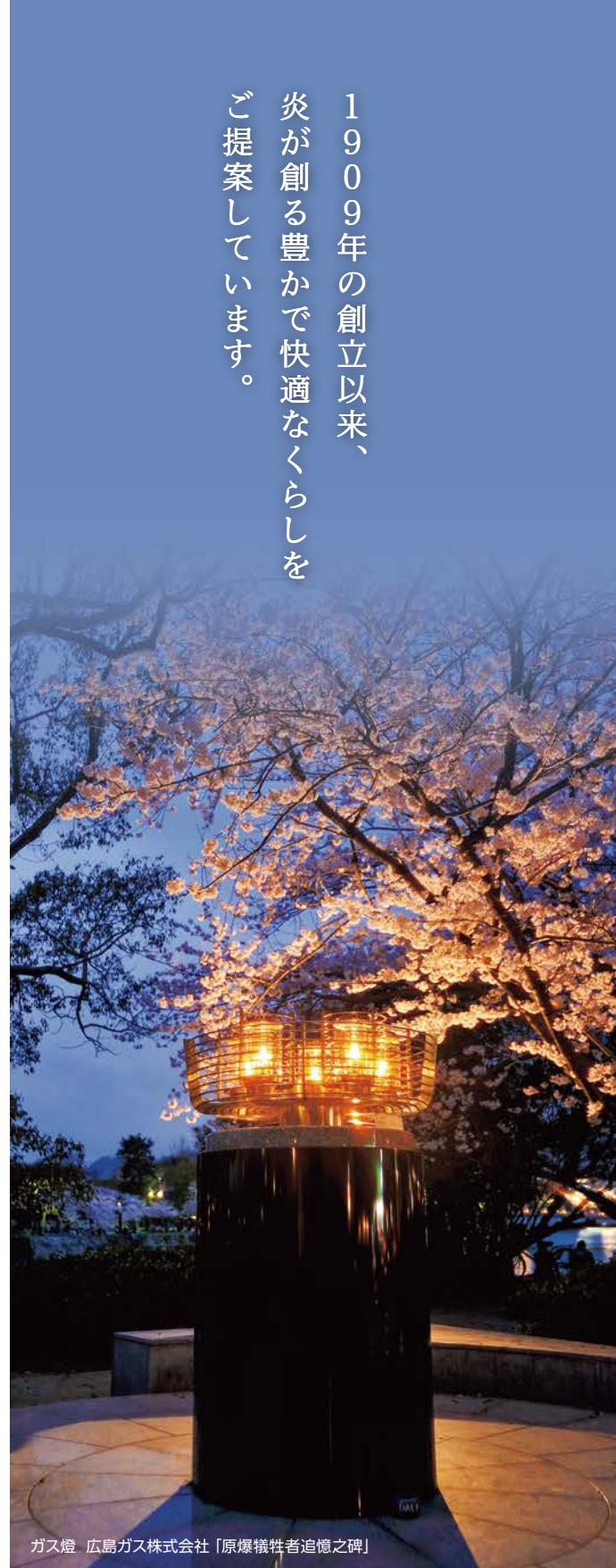
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客様の安心・安全に向けた取り組み	10
防災対策への取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
中期経営計画	15
連結財務データ ①主要数値 ②主要指標	17

## 〈環境分野〉

環境保全活動の基本的な考え方	21
① お客様先での環境負荷の低減	23
② 事業活動における環境負荷の低減	25
③ 地域環境保全への貢献	27
環境負荷低減フロー（2017年度実績）	28
環境目標および実績	29
環境会計	30

## 〈社会分野〉

地域社会との関わり （芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）	31
情報発信・お客様満足度向上の取り組み	34
求める人材像 「お客様、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」	35
働きやすい職場環境をめざして	36
労働安全衛生の取り組み	37
CSR報告書2018によせて	38
広島ガスの概要	39
広島ガスグループの概要	40



ガス燈 広島ガス株式会社「原爆犠牲者追憶之碑」

## 広島ガスCSR報告書2018

### 発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任（CSR:Corporate Social Responsibility）を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2003年度には社会的側面も報告対象とし、2005年度から、新たに表題を「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

### 【報告対象】

【範囲】広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」  
【期間】2017年4月から2018年3月までの活動（一部、2018年度の実績を含む）。本誌電子版および広島ガスグループ（主要子会社）の環境データをWebで公開しています。

[http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library\\_05.html](http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

### 【参考ガイドライン】

- 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」
- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第4.0版（G4.0）」

## CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」であるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現に向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

### 経営理念

## 「地域社会から信頼される会社をめざす」

### 広島ガスグループ 2020年ビジョンの 方向性

広島ガスグループは、2009年10月に、広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」を策定しています。

2020年ビジョンは、国や業界で描いた2030年、2050年といった超長期のガス事業のあり方も視野に入れ、広島ガスグループが2020年に向けたあるべき姿、ありたい姿に向けて持続的に発展していくための橋渡しと位置付けています。

#### 《ビジョン基本方針》

- ①天然ガスなどのガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する。
- ②お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る。
- ③公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループとなる。

## 温かく

- ◎人材を育む
- ◎環境を育む
- ◎お客さま・地域との関係を育む

## 広く

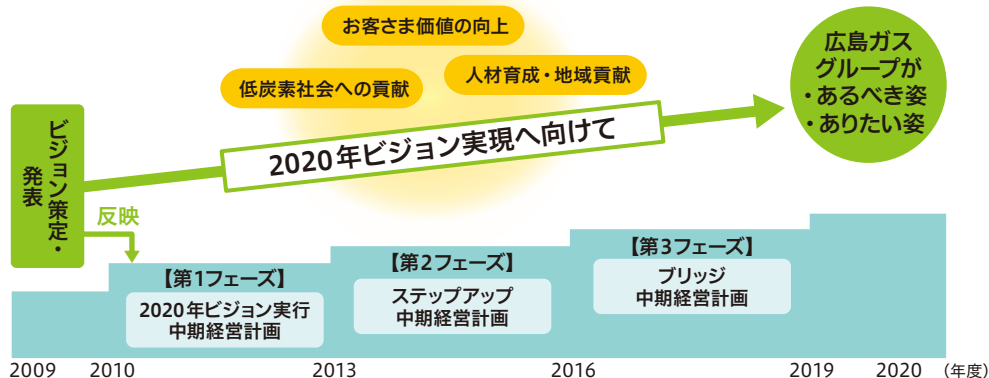
- ◎ガス体エネルギーの普及拡大（エリア・市場の拡大）
- ◎多様なエネルギーの提供

## 深く

- ◎エネルギーの高度利用
- ◎お客さまとの密なコミュニケーション
- ◎お客さまが望まれるサービスの提供

### 中期経営計画

広島ガスグループは、2020年ビジョン実現へ向け、2010年度から「2020年ビジョン実行中期経営計画」、2013年度から「ステップアップ中期経営計画」と位置付け、諸施策を実行してきました。2016年度からの「ブリッジ中期経営計画」では、2020年ビジョン実現に向けた最終フェーズとしてビジョン実現をより強く意識するとともに、エネルギー市場自由化に対応しつつ、次期ビジョンの策定を視野に入れ、諸課題への対応を検討・実施します。



中期経営計画の概要については [P.15](#)

## TOP MESSAGE

これからもエネルギーの安定的かつ  
安全な供給とともに、  
天然ガス普及拡大と社会貢献活動を的確・迅速に  
推進してまいります。



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

### エネルギー供給企業としての社会的責任

広島ガスは、1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

### 「このまち思い」な企業として

2017年4月のガス小売全面自由化の開始から1年が経過し、徐々に自由化の認知度も高まっており、競争は今後も激しさを増していくものと考えています。このような環境の中で、当社を選んでもいただくためには、他社との差別化を図り、いかにお客さまにメリットをご提供できるかが鍵となります。当社としては、企業スローガン「このまち思いエネルギー。広島ガス」を柱に据え、さまざまな施策を実施してまいりました。

このまちの「ひと」を思うサービスとして、Web会員サイト「MY HIROSHIMA GAS」を開設し、広ガスポイントサービスと連携し、着実に会員数を増やしております。また、このまちの「くらし」思いサービスとして、水まわり駆けつけサービスなどをはじめとした「広ガスくらしサービス」を展開しております。

料金においては、自由化の開始に伴い「柔軟かつ機動的」な料金サービスのご提供が可能となりました。2017年11月には、家庭用のお客さま向けの「広島東洋カープとこのまち応援割」、「ガスファンヒーターはじめて割」を発表し、期間限定の料金サービスとして実施いたしました。今後も引き続き、このまちに住む「ひと」と「くらし」に寄り添ったサービスを展開してまいります。

また、お客さまとの接点をより強固なものとしていくために、当社

の供給区域の各拠点に整備した6つのガスショップ併設型ショールームの有効活用策を検討実施するとともに、ガス機器の無償診断などを行う「ふれあい巡回」の継続や、機器メンテナンス体制の強化など、さらなるお客さまサービスの充実を図ってまいります。

広島ガスグループは、エネルギー市場の自由化などの環境変化を飛躍のための最大のチャンスと捉え、LPガスも含めたガス体エネルギーの普及拡大を図り、お客さまから選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

## 環境にやさしく快適な暮らしを

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「高効率機器の拡販やスマートコミュニティ事業への参画をはじめとしたエネルギーの高度利用」を基軸とした事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

業務用市場においては、CO<sub>2</sub>の排出が少なく、環境にやさしい天然ガスを選んでいただけるように省エネ提案をはじめとした種々の提案活動を行っております。今後も引き続き、分散型熱電併給システムであるガスコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などの普及促進を通じて、省エネルギーや省CO<sub>2</sub>に加え、エネルギーセキュリティ向上やピーク時の電力負荷の削減に寄与してまいります。

家庭用市場においては、省エネ性・環境性に優れた家庭用燃料電池「エネファーム」の一層の普及拡大を図ってまいります。マンション向けエネファームについても、着実に採用物件が増えてきており、今後ますますの普及が期待されます。今後とも省エネルギーで環境にやさしいエネルギーシステムの普及拡大を通じて、エネルギーの高度利用に貢献してまいります。

海田地区でのバイオマス混焼発電事業については、2017年10月に当社と中国電力(株)の共同出資で「海田バイオマスパワー株式会社」を設立しました。本事業を通じて、再生可能エネルギーの普及拡大やCO<sub>2</sub>の削減に貢献するとともに、広島県内の未利用木材を積極的に活用することで、エネルギーの地産地消を行い、地域経済の活性化に寄与してまいります。

## 安定供給と保安の確保

大きな変化の過渡期にある中でも私たち地域のエネルギー供給を担う事業者には課せられた、「保安の維持・向上と安定供給の確保」という使命は決して変わることはありません。

製造インフラにおいては、2016年2月からは大型の標準LNG船による原料の受け入れを開始し、今後もスケールメリットを活かした原料輸送コストの低減を図るとともに、原料の調達先についても多様化を進めてまいります。加えて、2017年2月に開設したシンガポール駐在員事務所を活用し、エネルギー関連市場や当社が所有するLNG船の有効活用に向けた情報収集

を行ってまいります。引き続き、LNGの安定的な供給の継続に加えて、より安価な天然ガスをお客さまにお届けできるように努めてまいります。

供給インフラにおいては、天然ガスの普及拡大と供給安定性の向上を図るとともに、ガス販売量の増大に対応するため、高圧幹線である広島湾岸幹線新設工事や、東広島市等におけるパイプライン延伸工事を行っています。

保安の確保については、ハード面において、耐震性の高いガス管であるポリエチレン(PE)管への取り替え、ガスの遮断と復旧を効率的かつ効果的に行うための導管網の小ブロック化の推進を図り、ソフト面において、人材育成の充実、緊急措置訓練、技能競技大会などを通じて、現場力の強化を推進しています。

また、2017年12月には本社構内に防災センタービルが竣工いたしました。本ビルは、震度7クラスの地震に耐えられる免震構造を採用するとともに、南海トラフ地震での津波を想定し、事務所機能を2階以上に配置することで、災害発生時の対応拠点としての役割を果たします。また、建物内に災害対策本部会議室を常設することで、災害時における緊急対策・復旧対策の迅速化を図ってまいります。本ビルの建設をはじめとして、さらなるインフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード、ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みの強化を進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

## 地域社会から信頼される会社をめざして

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうした地域貢献を通じて、地域の活性化・発展の一助になればと考えています。

社内におきましても、コンプライアンス意識の徹底、リスクマネジメントの強化、広島ガスグループ会社間の人材交流の実施や風通しのよい職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。併せて、当社グループの社員全員が、当社の社員であることに「自信と誇りを持てる会社」をめざし、個々の「人間力」を高めてまいります。

広島ガスグループでは、引き続きグループ役職員一丸となって、業務に精励し、「地域の好感度No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、広島ガスグループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

## トピックス 1

# 「広島ガス防災センタービル」の竣工、運用開始

2017年12月、本社構内に「広島ガス防災センタービル」が竣工しました。

災害時における緊急対応・復旧対応の迅速化を図るため、災害対策本部会議室をはじめ保安指令センターなどの供給保安機能を集約し、2018年5月から運用を開始しています。

### 目的

- 地震時、災害時の復旧対策拠点の確保
- 復旧活動へ速やかに移行できる体制の強化

### 機能

- 震度7クラスの地震に耐える免震構造（柱頭免震構造）。
- 津波などによる浸水被害にあっても機能を維持できる。
- 被災時に一定期間、外部から食糧・飲料水などの補給に依存せず対応要員が任務遂行できる。

### 【概要】

所在地	広島市南区皆実町2丁目(広島ガス本社構内)	
階数	地上6階(地上5階、屋上塔屋)	
延床面積	約3,900㎡	
構造	1階RC造、2～5階SRC造 柱頭免震構造	
期間	着工	2016年11月
	竣工	2017年12月
	運用開始	2018年 5月



非常用発電機+電源自立型GHPエアコン



免震装置を柱上部に設置し、執務室の空間の横揺れを大幅に軽減。1階柱(9本)を丸柱とし、津波・浮遊物の衝撃を受け流すことのできる構造になっています。

## トピックス 2

# 新料金メニューの実施

2017年4月に開始されたガス小売全面自由化を踏まえた料金サービスを展開しています。

同年11月に2つの期間限定料金サービスを発表し、2018年7月には業務用新料金メニュー「学びと長寿応援プラン」を新設しました。これからも、「ひと」思い、「くらし」思いを基本コンセプトとした料金メニューの充実を図り、このまち思いな企業をめざしてまいります。

### ■「このまち思い」料金(キーワード)

従来メニュー



「ひと」思いメニュー

『お子さまからお年寄り』まで、このまちの「ひと」を思うメニュー

「くらし」思いメニュー

「あたたかさ、快適さ」を軸に、このまちの「くらし」を思うメニュー

### 《家庭用》新料金サービス【期間限定適用(2018年1月～3月)】

#### ◎「広島東洋カープ」と「このまち」応援割

「このまち」に根差す広島東洋カープのリーグ優勝(V8)を記念し、ガス料金の「基本料金」を期間限定(2018年1月分)で8%割引を実施!

#### ◎ガスファンヒーターはじめて割

「ガスファンヒーター」、「ガストーブ」を広島ガスグループにて新規ご購入いただいたご家庭のお客さまに対し、

ガス料金を期間限定(2018年1月～3月分)で総額20%割引を実施!

### 《業務用》新料金メニュー

ジュニア世代&シニア世代向け施設用

～「学びと長寿応援プラン」の新設～

一般契約(一般ガス供給約款)

- 保育所 ● 幼稚園 ● 小学校
- 中学校 ● 高等学校
- 大学

- 特別養護老人ホーム
- 老人デイサービスセンター
- 介護老人保健施設 など

→ 一般料金と比較して3%\*割安に! 2018年7月1日運用開始!  
\*基準単位料金で比較すると3%割安になります。原料費調整額は含まれていません。

## トピックス 3

# 「海田バイオマスパワー株式会社」設立

2017年10月、「海田バイオマスパワー株式会社」を設立しました。

低廉で安定した電力を供給するとともに、バイオマス燃料を可能な限り混焼することで、再生可能エネルギーの普及拡大によるCO<sub>2</sub>の削減、および広島県内の未利用木材などの使用による地産地消に貢献してまいります。

### 【会社概要】

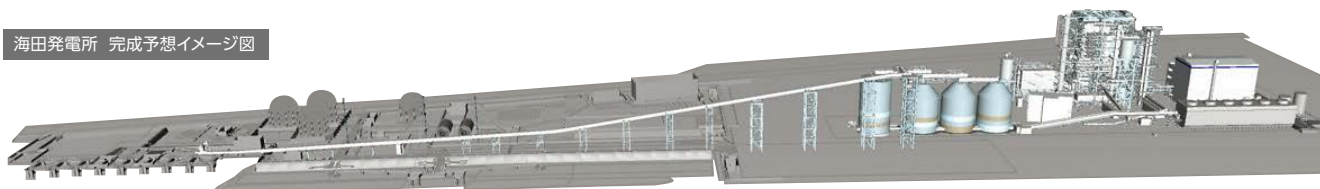
会社名	海田バイオマスパワー株式会社
本社所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号
設立日	2017年10月30日
設立時資本	資本金1億円、資本準備金1億円
出資比率	広島ガス株[50%]、中国電力株[50%]
事業内容	バイオマス混焼発電所の建設、運転、保守および電力の販売

### 【発電所概要】

発電所名	海田発電所
発電出力	約10万kW(送電端)
発電方式	循環流動層ボイラ
使用燃料	バイオマス(うち国内材は広島県内から調達)、石炭、天然ガス(助燃・バックアップ用)
工事開始	2018年12月(予定)
運転開始	2021年3月(予定)



海田発電所 完成予想イメージ図



## トピックス 4

# 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームは戸建住宅(新築・既存)に加えて、集合住宅(新築)での採用も始まっています。

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

### エネファーム集合住宅

2018年から広島県で初めて、集合住宅でエネファームを使う生活が始まりました。



エネファーム集合住宅(広島市中区吉島西)

### エネファームの種類

2016年4月から、「エネファームtype S」の販売を本格化しました。バリエーションが増えたことにより、さらに多くのお客さまにお使いいただけるようになっています。

### 「エネファームtype S」と「エネファーム」の比較

	エネファームtype S	エネファーム
作動温度	約700℃~750℃	約60℃~80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	46.9% (52.0%)*	35.2% (39.0%)*
備考	電気の使用量の割合が多いお客さま向け	お湯の使用量の割合が多いお客さま向け

※( )内の数値は、LHV(低位発熱量)基準です。

### エネファームの補助金(2018年度)

*補助金額(定額)		*追加補助対象	
	基準価格以下		追加補助金額
固体高分子形(PEFC)	6万円	建物区分:既存	各々+3万円
固体酸化物形(SOFC)	12万円	建物区分:集合	
		燃料種類:LPガス	
		システム仕様:寒冷地仕様	

\*募集期間…2018年4月9日~2019年2月22日

\*詳細はFCA(一社)燃料電池普及促進協会のホームページをご参照ください。

### ▶▶▶ エネファームとは

エネファームは、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO<sub>2</sub>排出量を標準家庭で年間約1.2t~1.5t抑えるエネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

2009年の販売開始以来、新築住宅・既存住宅のお客さまに導入いただいた結果、累計販売台数は1,812台(2018年3月31日現在)となりました。今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適なくらしと省エネ・省CO<sub>2</sub>に貢献していきます。

	補助金額	募集期間
広島市	3万円/台 × 400台	2018年4月16日~2019年1月31日
呉市	5万円/台 × 30台	2018年4月9日~2019年2月22日
三原市	7万円/台 × 20台	2018年4月9日~2019年2月22日
東広島市	15万円/台 × 20台 ※HEMS(ホームエネルギー マネジメントシステム) 設置必須	2018年4月9日~2019年2月28日
廿日市市	10万円以内(総額200万円)	2018年4月16日~2019年2月22日

\*詳細は各市のホームページをご参照ください。

\*補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切り。